

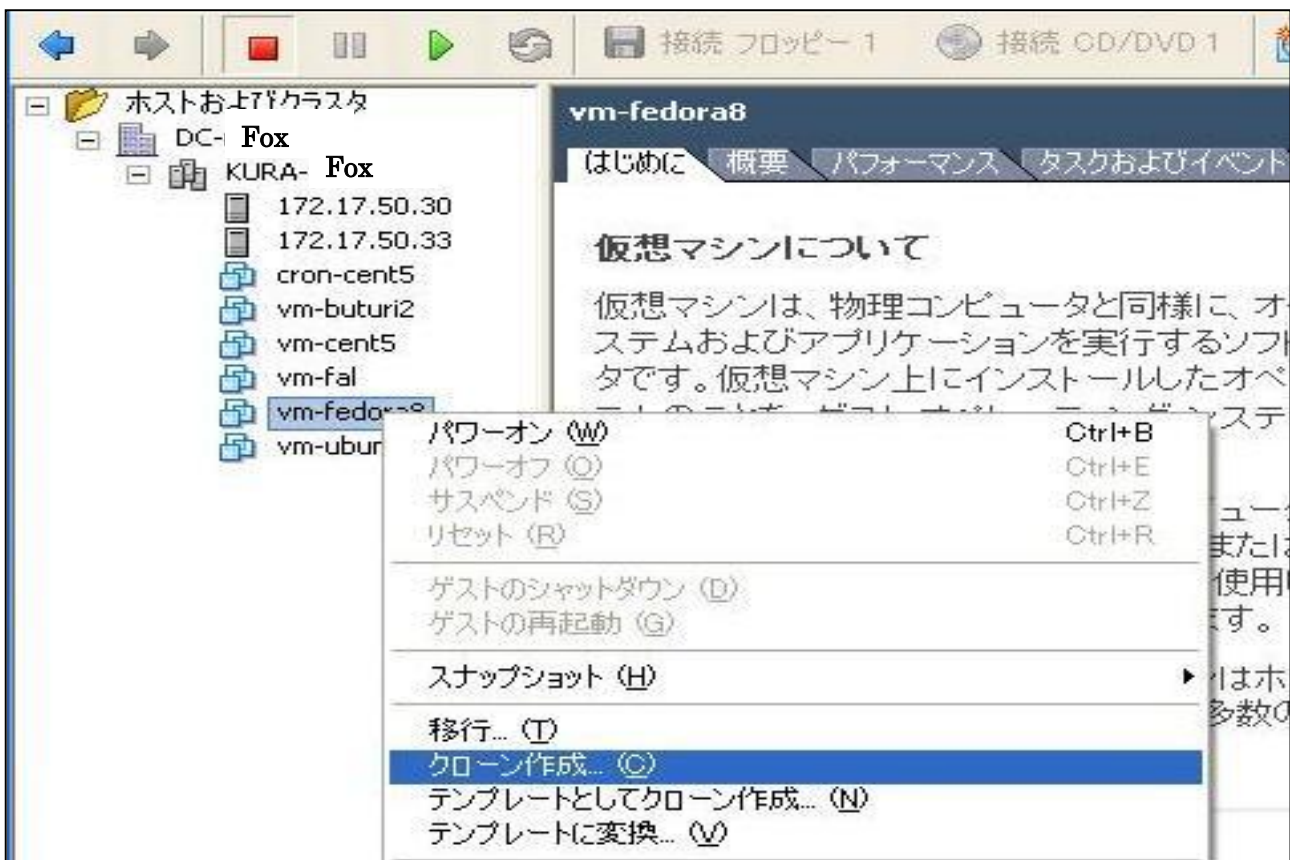


第 1 1 話 (クローンもどきの作成)



以下の図は、ホストOSを Windows ではなく、ESXi (Linux のカーネルだけ) とするデータセンターで使われている本格的な仮想化システムです。3台の PC を用いています。1台は「172.17.50.30」でもう1台が「172.17.50.33」です。残り1台はコントロールセンター (DC-Fox) として使われています。以下の画面がコントロールセンターです。この図は、作成したい仮想サーバ (vm-fedora8) を右クリックするとプルダウンメニューが表示され、「クローン作成」という項目が表示され、簡単にクローン (完全に同じ) サーバが10分程度で作成することができます。作成する場所はこの第10話までの仮想化環境ではありませんので注意してください。自分と同じ「172.17.50.30」PCでも良いですし、別の「172.17.50.33」に作ることもできます。ネットで繋がれていれば、別県にあるデータセンターに作ることもできます。

以上は、本格的なクローン作成の説明で、第10話までの仮想化環境とは異なりますので注意してください。でも、規模は小さいですが、これと同じことを、手動でやってみようということです。非常に簡単にできます。





クローンとは、簡単にいえば、完全に同じものをコピーして作る、ということなんだ。前図の本格的な仮想化システムの場合、クローンはファイルとして作られるが、「VMware Workstation Player」の場合は、仮想マシン自体が、ディレクトリとして作られるので、ディレクトリ全体をコピーすることによってクローンを作ることになる。故にクローンもどき、と名付けたわけさ。簡単だけど、これで同じ仮想マシンが幾つでも作れるのだから嬉しいものだ。ただ、注意しなければならないことがある。それは、コピーした仮想マシンの IP アドレスを変更しなければならないことだ。仮想マシンの名前の変更は言うまでもないだろう。同じディレクトリ名で同じディレクトリには置けないからな。



第9話で仮想マシンが作られるディレクトリは重要だからメモしておくようにタヌキに言ったよな。覚えているか？



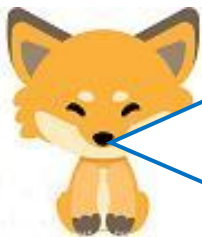
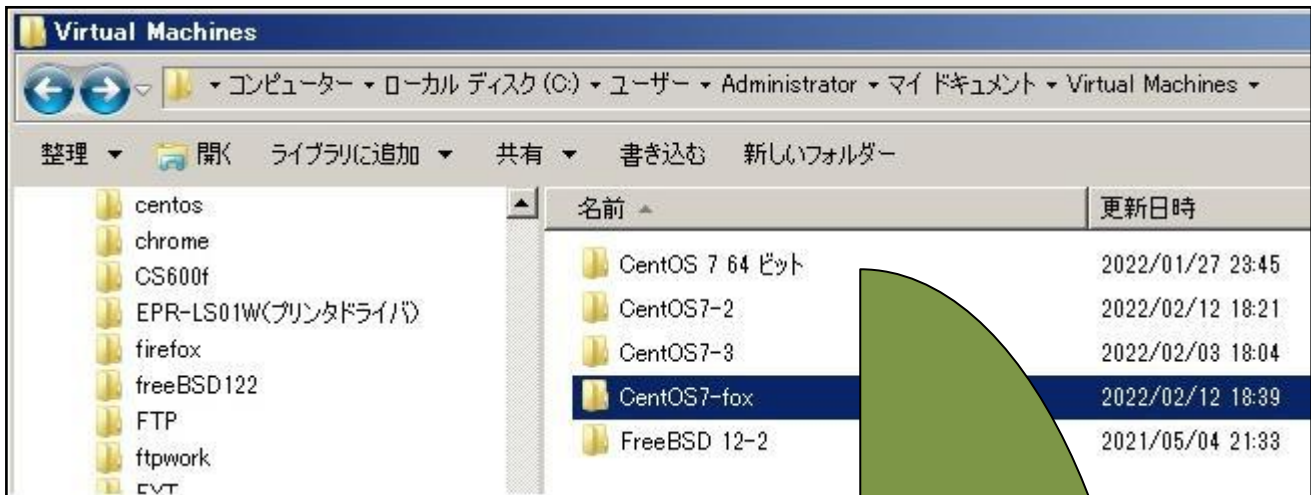
キツネ！オイラ、ちゃんとメモ書きしたぞ。

**[C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Virtual Machines¥CentOS7-fox]**

だろ。



そうそう、その場所が重要なんだ。以下の図でその場所（ディレクトリ）を提示するからな。



上図の **Virtual Machines** ディレクトリには、5 個の仮想マシンが存在していることになる。その内の **[CentOS7-fox]** を一つ上のマイドキュメントディレクトリにコピーするのだ。

コピー





次に、ディレクトリ名を変更する。  
タヌキの Raccoon を後ろに付けて [CentOS7-fox-Raccoon] と  
するか。ちょっと長いけれども良いか。



リネームした  
[CentOS7-fox-Raccoon]  
を Virtual Machines ディレクトリに  
戻せば終わりだ。これで、Virtual  
Machines ディレクトリには 6 個の  
仮想マシンができたことになる。  
マイドキュメントディレクトリの  
[CentOS7-fox-Raccoon] は削除し  
ても良いが HDD に余裕があれば、  
残すとバックアップにもなるぞ！

コピー





キツネ！すげえな。1個仮想マシンを作れば、後はアット  
いうまに仮想マシンができあがるんだ。オイラが一生懸命  
時間をかけて最高の仮想サーバを作り、それを皆がコピー  
すれば、他の人は知識が無くても仮想サーバを手に入れる  
ことができるのだ。ちょっと待てよ、最高の仮想サーバを  
1個作ったオイラも必要なくなるのでは……！！



同じ仮想サーバを作るタヌキは必要なくなるが、仮想  
サーバ以外の作業に打ち込むことができるようになるよ。常に向上心を持たなければ、タヌキもリストラ  
されるかもね。

そうそう、この仮想マシンで、第6話と第7話のチャ  
ットの練習ができるからね。さらに、種々のサーバ作  
りの練習もできるよ。

さて、次の**第12話**ではどのような話をしよ  
うか。

タヌキ、何か希望はあるか。



キツネ、急に言われてもな！  
色々あるけれど、考えてみるよ。  
そうだ、仮想マシンとネットワー  
クの関係をもう少し詳しく教えて  
ほしいな。